

平成 26 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ
代表者名 代表取締役グループ CEO 菊川 暁
(JASDAQ・コード 4777)
問合せ先 国内子会社管理部門担当部長 藤田 公司
(TEL 03-5778-0321)

第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 1 月 10 日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当により発行される株式の募集（以下「本第三者割当増資」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 募集の概要

(1) 払込期日	平成 26 年 1 月 27 日（月）
(2) 発行新株式数	416,000 株
(3) 発行価額	1 株につき 240 円
(4) 調達資金の総額	99,840,000 円
(5) 募集又は割当方法（割当先）	第三者割当増資 当社代表取締役菊川暁氏 416,000 株
(6) その他	前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件といたします。

2. 募集の目的及び理由

当社は平成 25 年 8 月 30 日付発表の「第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ」にも記載しましたとおり、平成 25 年 3 月期に当社グループの体制が大きく変わり、平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）では、売上高 424 百万円（前年同四半期比 68.1%減）、営業損失 182 百万円（前年同四半期営業損失 406 百万円）、経常損失 144 百万円（前年同四半期経常損失 361 百万円）、四半期純損失 188 百万円（前年同四半期純損失 213 百万円）となり、これらの結果、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しており、厳しい状況が継続しております。

また、当社グループの現金及び現金同等物の第 2 四半期末（平成 25 年 9 月 30 日）残高は 109 百万円となり、前期末から 206 百万円減少しております。主に営業活動によるキャッシュ・フローによる資金使用であります。当社の資金調達においては、平成 25 年 9 月 17 日に第三者割当増資により 88 百万円の資金調達を実施し、当面の事業資金を確保する予定であったものの、スマートフォンアプリ事業において、当初平成 26 年 3 月期第 2 四半期にサービス提供開始を予定しておりましたアプリの開発が、サーバーの多言語対応等に時間がかかったことによりリリースが遅延し、平成 25 年 12 月 11 日に一部サービス提供開始いたしました。全サービスの開始には至らずサービス提供に向けて開発を継続（なお、現時点で完了時期は未定であります。）しており、スマートフォンアプリ事業においては第 3 四半期（平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）も資金支出が先行いたしました。また、前期（平成 24 年 3 月期）における連結子会社 Gala-Net Inc.（米国）の株式譲渡取引において、当社が譲渡先である Webzen Inc.（韓国）に対して負担する債務の担保として譲渡代金の一部である外貨定期預金合計 100 万米ドルに質権が設定されており、そのうち

平成 25 年 8 月に質権解除可能期間となった質権設定外貨定期預金 50 万米ドルについては、質権者である Webzen Inc.において質権解除手続きに時間がかかっており、現在も質権が解除されず現金及び現金同等物残高に含めておりません。

当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在していることにより、金融機関から新規借入による資金調達が困難であります。さらに連結子会社 Gala Lab Corp. (韓国) が債務超過にあることから、同社の金融機関からの借入の継続が難しい状況にあります。さらには、スマートフォンゲームアプリの開発及びサービス提供が遅延しているため、第 4 四半期 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) において当社事業資金及び連結子会社 Gala Lab Corp.のスマートフォンアプリ事業資金が不足する見込みであり、短期間で資金調達をする必要があります。

当社は、当社事業資金及び連結子会社 Gala Lab Corp. (韓国) のスマートフォンアプリ事業の事業資金を確保すべく、資金調達の確実性を最優先に置きながら、早期の資金調達の手段を慎重に検討いたしました。その結果、当社グループの経営成績及び財政状態を鑑み、間接金融による調達が難しいため、直接金融による資本性の資金調達を選択し、上記の当社グループの状況から短期間で資金調達を行う必要があるため、事前準備及び募集期間に一定の時間を要する公募増資または株主割当を選択することは適切でないと判断し、資金調達の確実性を重視し、第三者割当増資が最善と判断をいたしました。割当先の選定につきましては、平成 26 年 7 月に当社代表取締役である菊川暁氏より早期の業績回復を目指し、経営責任を全うするため、当社グループの資金需要逼迫時には、継続的に自己資金を投入することにより会社経営を支援するとの申し出がされており、これを踏まえて割当先を検討した結果、他に適切な割当先がなかったため菊川暁氏といたしました。また、調達資金の総額の検討につきましては、菊川暁氏と検討を行った結果、菊川暁氏の現時点における引受可能な金額といたしました。

本第三者割当増資により、第 4 四半期の当社事業資金及び連結子会社 Gala Lab Corp.のスマートフォンアプリ事業の事業資金が確保でき、短期的な資金繰りの目処が立つことにより、アプリの開発に引き続き注力いたします。また、一部サービス提供を開始したアプリのロイヤリティーの収入が始まり、質権設定外貨定期預金も第 4 四半期中に質権の解除を見込んでいるため、資金の安定化が図れると考えています。なお、アプリ開発進捗状況、サービス提供開始時期、ロイヤリティー収入による資金獲得状況等には、不確定要素があることを考慮し、今後も資金の安定化を図るため、本第三者割当増資の実施後も引き続き資金調達について検討を継続する予定であります。

上記の通り、当社におきまして資金調達を検討するにあたって、当社グループにおける長期的な資金の安定化の観点で資金調達の方法の検討を行った結果、本第三者割当増資の他に適切な資金調達方法が見つからなかったことから、菊川暁氏の現時点における引受可能な金額で、本第三者割当増資により資金調達を行うことといたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	99 百万円
② 発行諸費用の概算額	1 百万円
③ 差引手取概算額	98 百万円

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 当社事業資金	58	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 4 月
② 連結子会社事業資金 (Gala Lab Corp.)	40	平成 26 年 1 月

※ 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

4. 調達する資金使途の合理性に関する考え方

前記3.(2)に記載しました、当社の事業資金は、主に人件費、事務所賃借料、上場維持に伴う費用であります。

なお、連結子会社 Gala Lab Corp. の事業資金としての支出は、スマートフォンアプリ事業におけるアプリ開発に係る人件費、プロモーション費用等に充当するため、当社から貸付若しくは追加出資とする予定であります。

これらは当社グループにおける事業の維持に必要な不可欠であり、平成25年9月17日付の第三者割当増資による調達資金で、アプリ開発完了とサービス提供の開始を見込んでおりましたが、アプリ開発が遅延していることにより、本第三者割当増資により、アプリ開発を継続させるための資金を獲得し、早期にサービス提供を開始することが、企業価値及び株主価値の向上につながるものであり、資金使途として合理的であるものと判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本第三者割当増資における発行価額は、割当予定先との協議の結果、本第三者割当増資に関する取締役会の直前日(平成26年1月9日)の株式会社東京証券取引所 JASDAQ スタンダード市場における当社株式の終値240円といたしました。

上記払込金額は、直近の市場価格に基づくものが合理的であると判断したこと及び、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」(平成22年4月1日)により、原則として株式の発行に係る取締役会決議日の直前日の価格(直前日における売買がない場合は、当該直前日からさかのぼった直近日の価格)を基準として決定することとされているため、本第三者割当増資に係る取締役会決議日の直前営業日の終値といたしました。

なお、当該発行価額は、取締役会の直前日までの直近1ヶ月の終値の単純平均値260.89円(少数点第3位以下四捨五入)からは8.01%のディスカウント率となり、直近3ヶ月の終値の単純平均値198.05円(少数点第3位以下四捨五入)からは21.18%のプレミアム率となり、直近6ヶ月の終値の単純平均値186.64円(少数点第3位以下四捨五入、当該数値は25年10月1日付で1株を100株に株式分割したため、株価を調整して算出しております。)からは28.59%のプレミアム率となっており、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に照らしても、会社法第199条第3項に規定されている特に有利な金額には該当しないものと判断しております。また、本第三者割当増資の割当予定先でない常勤監査役が、上記払込金額は、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にし、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、当社の直近の財政状態及び経営成績等を勘案し、適正かつ妥当であり、特に有利な払込金額には該当しない旨の意見を表明しております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当により発行される株式数416,000株(以下、「今回発行株式総数」といいます。)(議決権数4,160個)は、平成26年1月10日(決議日)現在の発行済株式総数11,173,300株(議決権数111,733個)に対して3.72%(議決権ベースで3.72%、少数点第3位以下四捨五入)となります。なお、今回発行株式総数に、平成25年9月17日を発行期日として第三者割当により発行された株式数550,000株を加えた合計966,000株(議決権数9,660個)は、平成25年8月30日時点の発行済株式総数10,623,000株(議決権数106,230個)に対して9.09%(議決権ベースで9.09%、少数点第3位以下四捨五入)となります。

当社は、本第三者割当増資により調達した資金を当社事業資金及び連結子会社のスマートフォンアプリ事業資金に充当する予定であります。これによる自己資本の増強及び財政状態の安定化は、引き続きアプリの開発を進め、早期にサービス提供を開始することが、当社グループの業績回復につながり、企業価値及び株主価値の向上につながるものと判断しております。

したがって、当社は本第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は、合理的な範囲であるものと判断しております。

6. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

① 氏名	菊川 暁
② 住所	東京都港区
③ 職業の内容	会社役員
④ 上場会社と当該個人の関係	当社代表取締役、当社主要株主である筆頭株主であります。 持株保有数は 3,503,200 株。保有割合は 31.35%であります。 平成 25 年 3 月期の当社と当該個人の取引は、 (1) 資金の借入 43,000 千円 (2) 借入金の返済 43,000 千円 (3) 支払利息 1,797 千円 であります。 なお、平成 25 年 9 月 17 日付当社第三者割当増資 88,550 千円 (550,000 株) を引き受けております。

※ 菊川暁氏につきましては、ヒアリングにより確認を行うとともに、当社から第三者の信用調査機関である株式会社ディー・クエスト（東京都千代田区 代表取締役 脇山 太介）に依頼して調査を行い、菊川暁氏が反社会的勢力等とは一切関係がないことを確認しており、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

(2) 割当先を選定した理由

菊川暁氏は、当社の創業者であり代表取締役グループ CEO であります。

当社グループは、平成 26 年 3 月期にアプリ開発に着手し、平成 25 年 9 月 17 日付第三者割当増資による調達資金により、遅延しておりましたアプリ開発を進めてまいりました。平成 25 年 12 月 11 日より一部のサービス提供を開始するまでに至りましたが、業績回復及び資金獲得には至っていない状況にあります。

平成26年7月、菊川暁氏より早期の業績回復を目指し、経営責任を全うするため、当社グループの資金需要逼迫時には、継続的に自己資金を投入することにより会社経営を支援するとの申し出がされております。これにより、当社取締役会は当社の状況を鑑み、再度、確実に資金調達を実現するため、割当先を検討した結果、他に適切な割当先がなかったため、本第三者割当増資の割当予定先であり、特別利害関係者である菊川暁氏以外の出席取締役全員で検討し、特別利害関係者である菊川暁氏以外の全員の賛成により、本第三者割当増資について決議いたしました。

(3) 割当先の保有方針

割当予定先である菊川暁氏は、本第三者割当増資により取得した当社株式に関し、長期保有の意向を表明しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から 2 年以内に本第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対して書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先である菊川暁氏が、本第三者割当増資に必要な自己資金を十分に有していることを預金通帳の写し及び本人へのヒアリングで確認しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 26 年 1 月 10 日現在）		募集後	
菊川 暁	31.35%	菊川 暁	33.82%
宗教法人 宗三寺	2.81%	宗教法人 宗三寺	2.71%
日本証券金融(株)	1.51%	日本証券金融(株)	1.46%
菊川 匡	1.07%	菊川 匡	1.04%
野村証券(株)	0.87%	野村証券(株)	0.84%
野村証券(株)	0.63%	野村証券(株)	0.61%
ネット&コール		ネット&コール	
小林 一郎	0.63%	小林 一郎	0.61%
伊藤 誠	0.53%	伊藤 誠	0.51%
須藤 甚吉	0.40%	須藤 甚吉	0.39%
(株)ベクター	0.39%	(株)ベクター	0.37%

- (注) 1. 所有株式数につきましては、平成25年9月30日時点の株主名簿に記載された数値を基準とし、平成25年10月1日付の株式分割（1：100）及び当社において把握している平成25年9月30日以降の株主の異動を加味して、平成26年1月10日現在の発行済株式数における持株比率を記載しております。
2. 平成26年1月10日現在の発行済株式総数は11,173,300株であります。
3. 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資による平成 26 年 3 月期連結業績に与える影響は軽微であります。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希釈化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないこと（新株予約権又は取得請求権すべてが権利行使された場合であっても、支配株主の異動が見込まれるものではないこと）から、東京証券取引所の定める上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（連結）（単位：百万円）

	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
売上高	4,559	4,266	2,169
営業利益	41	△100	△820
経常利益	3	△85	△865
当期純利益	△271	△512	△2,268
1株当たり当期純利益（円）	△25.51	△48.28	△213.55
1株当たり配当金（円）	—	—	—
1株当たり純資産（円）	266.92	204.50	8.95

- ※ 平成 25 年 5 月 15 日開催の取締役会決議により、平成 25 年 10 月 1 日付で 1 株を 100 株に株式分割いたしました。なお、上記は平成 23 年 3 月期期首に分割したとみなして、1 株当たり当期純利益及び 1 株当たり純資産を記載しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成 26 年 1 月 10 日現在）

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	11,173,300 株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近 3 年間の状況

	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
始 値	51,100 円	23,250 円	18,370 円
高 値	73,500 円	38,700 円	28,480 円
安 値	17,500 円	16,500 円	7,400 円
終 値	23,450 円	18,030 円	14,740 円

⑤ 最近 6 か月間の状況

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
始 値	12,750 円	17,420 円	166 円	170 円	154 円	157 円
高 値	23,940 円	19,790 円	223 円	182 円	178 円	331 円
安 値	12,520 円	14,200 円	164 円	144 円	150 円	157 円
終 値	17,410 円	16,410 円	169 円	161 円	157 円	256 円

※ 平成 25 年 5 月 15 日開催の取締役会決議により、平成 25 年 10 月 1 日付で 1 株を 100 株に株式分割いたしました。なお、平成 25 年 9 月 26 日をもって、東京証券取引所における売買単位も 100 株に変更されたため、9 月から分割後の株価を記載しております。

⑥ 発行決議日前営業日における株価

	平成 26 年 1 月 9 日現在
始 値	240 円
高 値	245 円
安 値	240 円
終 値	240 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

払込期日	平成25年9月17日
調達資金の額	87,650,000円(差引手取概算額)
発行価額	161円
募集時における発行済株式数	10,623,000株
当該募集による発行株式数	550,000株
募集後における発行済株式総数	11,173,000株
割当先	菊川 暁
発行時における当初の資金使途	当社事業資金及び当社連結子会社 Gala Lab Corp.のスマートフォンアプリ事業資金
発行時における支出予定時期	平成25年9月～平成25年11月
現時点における充当状況	当社事業資金及び当社連結子会社 Gala Lab Corp.のスマートフォンアプリ事業資金に全額充当いたしました。

※ 平成25年5月15日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日付で1株を100株に株式分割いたしました。なお、上記は第三者割当増資前に分割されたものとみなして記載しております。

11. 発行要領

- | | | |
|--|-------------|-------------|
| (1) 募集株式の種類 | 当社普通株式 | 416,000株 |
| (2) 払込金額 | 1株につき | 240円 |
| (3) 払込金額の総額 | | 99,840,000円 |
| (4) 増加する資本金及び
資本準備金の額 | 増加する資本金の額 | 1株につき 120円 |
| | 増加する資本準備金の額 | 1株につき 120円 |
| (5) 申込日 | | 平成26年1月27日 |
| (6) 払込期日 | | 平成26年1月27日 |
| (7) 割当先及び割当株式数 | 当社代表取締役菊川暁氏 | 416,000株 |
| (8) 払込取扱場所 | 株式会社三井住友銀行 | 恵比寿支店 |
| (9) 新株交付日 | | 平成26年1月27日 |
| (10) その他、上記新株の発行に関し必要な事項は、取締役会において決定いたします。 | | |

以上